

- ・教育・学習支援への取り組み
- ・私情協ニュース
- ・賛助会員だより
- ・海外ニュース「ITと大学教育」

流通科学大学／上智大学

(3) 会誌「大学教育と情報」のホームページへの掲載

大学・短期大学の関係者さらに広域的に伝達するため、会誌をホームページに継続して掲載した。

(4) 海外情報の翻訳

話題性のある海外情報を翻訳または抄訳して機関誌に掲載するため、翻訳分科会で和訳と監訳を行った。翻訳内容の選定は、事業普及委員会の要請で翻訳分科会が担当することになり、EDUCAUSEの雑誌や報告書の中から、機関誌の趣旨にふさわしい教育へのIT活用の視点から、20年度はECAR (EDUCAUSE Center for Applied Research) が発刊する調査報告書「ITと大学教育 (IT and the Academic Experience)」の一部を翻訳することにした。翻訳は、EDUCAUSEの承諾を受けた後、分科会委員の2名が原文を分担して翻訳し、さらに2名が監訳した。訳文は、機関誌のNo.17 No.4に掲載した。なお、翻訳内容の選定の際に、上記の報告書以外にも提案した翻訳候補については、21年度以降に翻訳し、機関誌に掲載することになっている。

4-2 インターネットによる情報公開・配信

本協会事業の活動について可能な範囲で、Webサイト及びインターネットによる配信により国及び社会、大学関係者に対して情報を公開・配信している。とりわけ本協会が実施する大会、発表会、会議、研究講習会等の資料、映像をファカルティ・ディベロップメントの資料として、ビデオ・オンデマンド化し、希望する加盟校、賛助会員を対象に実費で配信している。コンテンツは18年度216件、19年度185件、20年度161件、の562件とした。コンテンツの使用環境は、Producer for PowerPoint2003で作成しているが、PowerPointがインストールされている必要はない。

20年度分の配信分担金は、正会員31,500円から52,500円、賛助会員一律42,000円、20年度と19年度分は正会員34,650円から57,750円、賛助会員一律46,200円、18年度分は無料として、加盟校の教職員、賛助会員を対象に利用人数無制限で配信することにし、参加申し込みは、随時可能でWebから行うことにした。

以上の他、委員会の内、学系分野ごとのFD/IT研究委員会、サイバー・キャンパス・コンソーシアム運営委員会について、事業活動を社会にオープンにするため、議事概要をWebサイトで公開している。